

令和4年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	本港地区活性化事業			整理番号	— —
				担当課係	商工観光課
事業予算費目	款	8	土木費	記入者職・氏名	
	項	6	港湾費	内線等	431
	目	1	港湾費	事業区分	経常事業
	大事業	5	本港地区活性化事業	事業期間	令和4年～4年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	都市公園法・徳島東部都市計画・徳島小松島港港湾計画				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

小松島市まち・ひと・しごと創生総合戦略における令和4年度新規施策（子育て世帯の定住施策）として、小松島みなと交流センター「kocolo」、「小松島ステーションパーク」や「図書館」のリニューアル等が提案された。これらの施設は、徳島小松島港「本港地区」に集約されており、このエリアを一体化した再整備をすることによって子育て世帯も含めた幅広い人々が利用できる空間作りを目指していく。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順） 徳島小松島港「本港地区」には、市や県の施設（サウンドハウスホール・小松島みなと交流センター「kocolo」・小松島ステーションパーク・図書館・しおかぜ公園等）が集約されており、この地区を一体化した再整備の基本計画を策定する。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか） 港まちこまつしまの象徴するエリアである本港地区・ステーションパーク等の空間をいかして、年齢層に関係なく、幅広い人々が利用できる「にぎわい空間」を創出する。

■総合計画(後期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	基本目標	4. 活気あふれるまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	② 未来への活力を育むまちづくり
			中項目	4-3商工業の振興
			小項目	港を中心とした賑わいづくり

（理由）
第6次総合計画の上記項目には、徳島小松島港「本港地区」やそこを中心とした市街地エリアの賑わい創出が謳われており、整合性はとれている。

■他の自治体の類似する政策との比較検討

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	市民
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	小松島みなと交流センターや小松島ステーションパーク、図書館は、建設されてから20年以上たっており、各施設で長寿命化やリニューアルが検討されていた。そこで、徳島小松島港本港地区を中心としたエリアについて、一体的な基本計画を立案し、幅広い人々が利用できる空間を計画することとした。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	本港地区の活性化に関しては、いろいろな立場の方から様々な意見をいただいている。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	小松島みなと交流センターや小松島ステーションパーク、図書館等を一体となって再整備することにより、本港地区エリアに「にぎわいある空間」をつくること出来る。 都市公園法、徳島東部都市計画、徳島小松島港港湾計画

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	11,500	11,500				
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	11,500	11,500				
	A 直接事業費(千円)	23,000	23,000	0	0	0	0	
	人件費	正 規 職 員 数	0.50 人	0.50 人	人	人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	3,206	3,206				
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 費 金 等 ②	0					
	B 人件費計(千円)①+②	3,206	3,206	0	0	0	0	
A + B	26,206	26,206	0	0	0	0		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	各施設が一体となって再整備することにより、施設の機能の重複を避けられるとともに、子育て世代をはじめ、幅広い人々が利用できる空間を効率よく整備できる。				
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	類似事業はないと考えている。				
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> a ある	理由	基本計画策定後において、それぞれの施設ごとに詳細設計を実施する。				
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。								
有効性	①							
	②							
	③							
所属長による総合的なコメント								
ステーションパークや図書館などの複数の施設の連携を強化することにより、本港地区周辺の活性化につながるから、エリア全体を対象とした基本計画の策定に取り組んでいく。								